

2023年9月7日 第5回 世田谷区地域経済発展を目指す会議

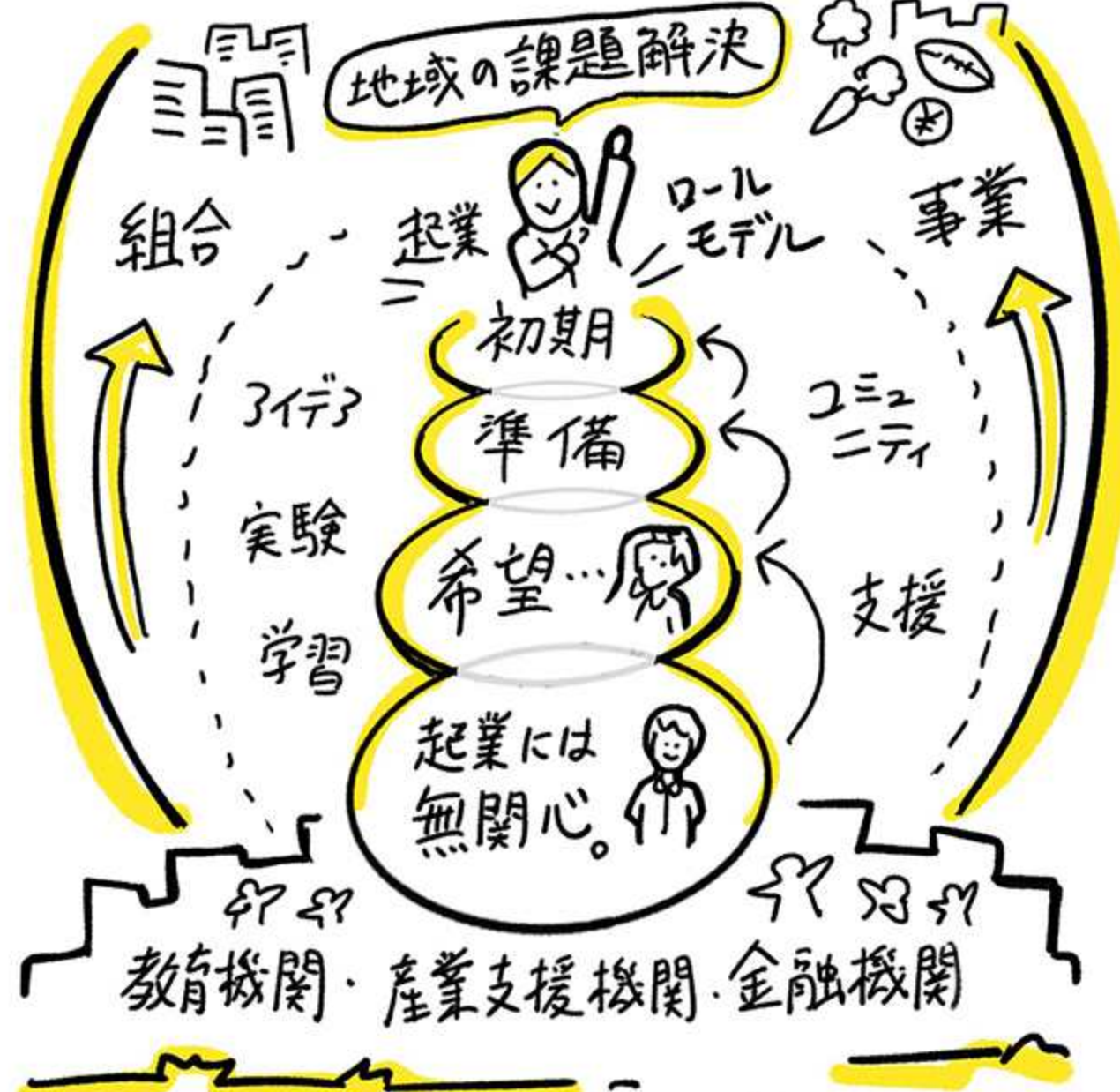
基本方針1に関する施策提案 長山宗広 委員

『地域産業振興を
身近な場で構想・実行する体制づくり』



委員からの施策提案

『アントレプレナーシップを
軸とする地域プラットフォーム』



基本方針2に関する施策提案

三茶7-7カンパニー株式会社 代表 吉田亮介氏

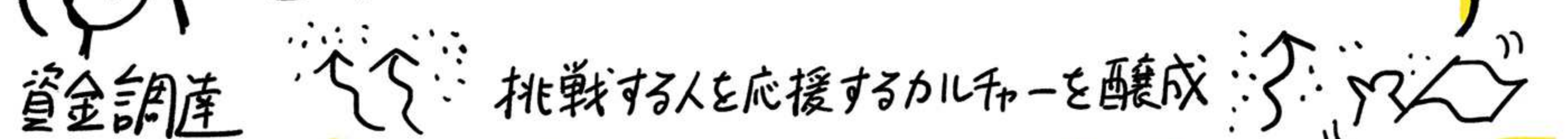
90万人の暮らす人 x 世田谷の発展!!
= 暮らしの豊かさも持続!!

市民が持つ
資産や高い意識

① 市民が事業者へ直接投資可能な地域密着ファンド



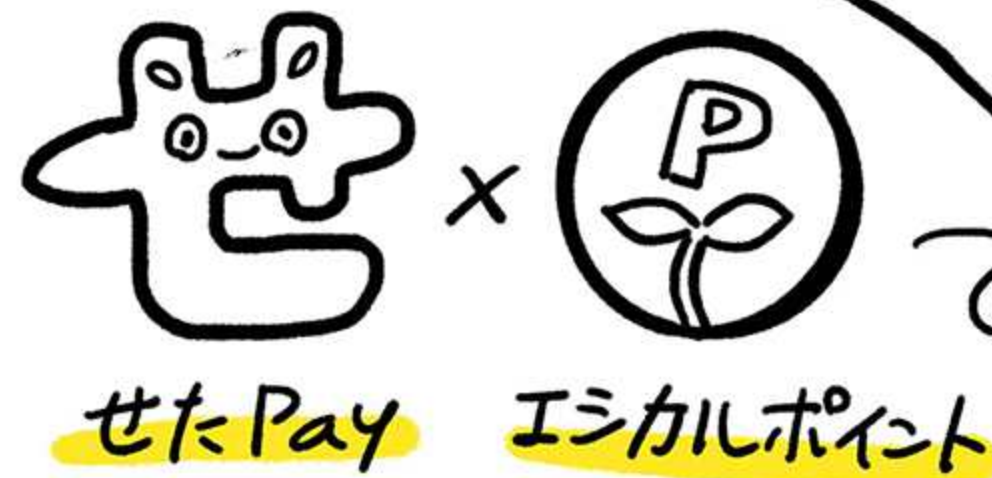
② 市民・事業者同士が出会う、つながる仕掛けづくり



基本方針4に関する施策提案

株式会社 cocoroé
代表取締役 田中美帆氏

フェアトレードタウン世田谷推進委員会
コンシェルジュ 見城佐知子氏



1. 商店街 x イシカルポイント
2. イベント x ガーデン
3. コンポスト活動 x イシカルポイント
4. 中小規模事業のイシカル活動推進

新たな事業創出!
新たな教育機会!
社会を変える文化醸成!

イシカルの可視化、シビックプライド

アントレプレナーが顔出し!

イシカルタウンの
実現!?

個 x プラット
フォーム

様々な
「光し」

基本方針3に関する施策提案

非営利型株式会社 Polaris 取締役

市川望美氏

行政、企業、アカデミック、NPO、市民

クロスセクターによる、エコシステム!



日常の延長線上にある、
安心して口に出せる場。
言語化されていないものを
掬い取る。向き合う。

多様性を前提
とした信頼関係!

壁を乗り越える
新たな発想!!

長期的なコリネーションな
成果
バリエーション・ネットワークの
コミュニティの探究
+ 働き方の多様性

2023年9月7日 第5回 世田谷区地域経済発展を目指す会議

田中美帆氏



「メインテーマ
『わくわく感が生む、
世田谷の新たな価値と豊かさ』
⇒ 言葉の背景や意義が本当に伝わる?
テーマ文制作のプロセスもいろいろある。
区民がテーマの意図を言葉から汲み取ってくれるか?」

千葉寿典氏



誰にとってもワクワクなのか?
ただカッコ良くまとめるだけではだめ。

伝わる
テーマとは?

竹内明彦氏



～資料6の感想～ 主体があいまい...
例: 民間活力を活用できていない。
一緒に取り組んでいくのにこの言葉が良い?
逆に、『専門知識を持っている方が活役できていない』
という部分は受けとりやすい。

行政寄りの言葉 → 区民が受け取りやすい言葉に!
役割分担
↳ 公民共創!

大石英司氏



基本方針が上手くいったときにどう数値化?

「サステナブル」のマーケットが広がる。
↓
世田谷区の経済が上手くいった。

相関関係は?

- ・国言ひ、GDPのような指標
- ・企業言ひ、CDPやESG 投資家が評価

⇒ 世田谷区が自治体、地域の持続可能性を数値化するための指標をつくっても良い。



循環をどうつくるのか? ⇒ 設計が重要



中山綾子氏



区全体をどう巻き込んでいくか?

様々な規模感の事業者がいる中で
地区単位のプラットフォームが機能するか?

福祉のようなフェイストゥフェイスのサービス、
世界とやりとりをしている方や路面店など



キーワード
共同労働
エリアごとのプラットフォームで、何をテーマにするかが重要!
例: シモキタ園藝部 (コンポストも作っている。)

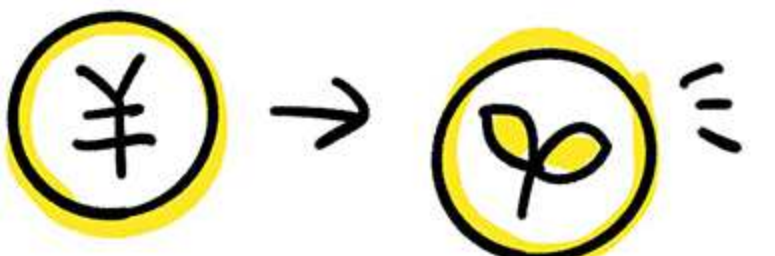
中山耕輝氏



エシカルポイント
→ KPI 立てやすい!



栗山和久氏
→ 原資の確保



長山宗広氏
サステナビリティ = 大きな視点
ウェルビーイング = 個人の視点

